春色のけしき

叶愛夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
春色のけしき

【Ｎコード】
Ｎ７１６９Ｂ

【作者名】
叶愛夢

【あらすじ】
風に散る花びらに私は遠い日の出来事を思い出す……春は優しくて……でも、どこか切ない季節……。

（前書き）

『春小説』で検索すると他の方の作品も読む事ができます。是非ご覧下さい。

ハラリ……ハラリ……

儚げにそして可憐に舞い散る桃色の花びら……。

私は公園のベンチに腰を下ろし、本を読んでいた。

花びらは私の本の上に舞い降りた。

それを挟んだまま本を閉じ私は顔をあげた。

目に優しい薄桃色の花、暖かな日差しに子供たちの無邪気な笑い声が耳に響いた。私を穏やかな気持ちにさせてくれる。

ふわりと優しく吹く温かな風に私は遠い日の出来事を思い出した。

その日も今日みたく桜が満開で風によって舞い散っていた。

暖かな日差しに心が踊ったのを今でも覚えている。

何かいいことが起きそうな幸せな予感が胸いっぱいに広がった。

――けど……。

『君に別れを告げなくてはならない……。遠い地に行く事になった。だから――……』

――オワリニシヨウ……。

それはとても突然の別れの言葉だった。大好きな彼は親の都合でアメリカに行く事になった。

その頃は現在(いま)と違って外国に行く事はとても珍しかった。

交通手段もそんなになく簡単に行ける場所ではなかった。

当時、15歳だった私にはそれを受け入れるのは身を切り裂かれる程痛く辛かった。

でも、本気で彼を愛していた。

だから、彼の幸せの為に胸の痛み堪えて私は彼との別れを受け入れた。

『わかったわ……。今までありがとう、さようなら……』

強がって笑顔を浮かべて…私は答えた…。

最後にあなたは私を抱きしめて耳にキスをしてくれた。

最後のキス……。

あなたの温もりを感じるのが今日で終わりだと思うと切なくなって苦しなって……目頭が熱くなった……。

堪え切れず私は泣いた……。

泣き顔を見せたくなかったのに……、笑顔で終わりにさせたかったのに……。

堪え切れなかった……。瞳から涙が溢れ、頬を伝ってポロポロ零れ落ちる涙。

視界に映るあなたの顔が……大好きな桜が涙で滲んで見えなくなった。

私の恋は桜の花びらみたく儚く散ってしまった……。

――春は嫌い。

だって、人との別れが訪れるから……儚い季節だから……。

だから嫌い……。

まだ少女だった頃の私はそんな事を思った。

けど、今となっては清らかな思い出なの。私もそれなりに生きてきた。

新しい恋をして、愛を知り、大切な家族ができた。

この春に娘が母になる。

私は『おばあちゃん』になる。

ちょっと不思議な気持ち。

春は、たくさんの命が芽吹く季節……。優しい季節。別れと出会いが訪れる季節

だから、好き。

そんな事を考えながら大好きな桜の花を見つめた。

淡い桃色の花びらは変わらずに綺麗でちょっとだけ羨ましい。

だって、私はもう皺くちゃのお婆ちゃん。

あなたとともに育ってきたけど、私だけ変わってしまった。

――どうか、これからも変わらずに咲き続けてほしい。

たくさんの人達を見守り続けて欲しい。

子供たちの笑い声が心地良くて私の顔は自然と綻ぶ。

ふわっと暖かな春風が吹いて甘い花の香りを届けてくれる。

春の麗らかな景色に心が温かくなるのを感じながら私はまた本を開いた。

春の景色の下で……

ｆｉｎｅ

（後書き）

ここまで読んで下りありがとうございます。『春』という言葉に『別れ』と『出会い』それから『儚さ』が思い浮かびました。そして大好きな故本田美奈子さんの歌（タイトルを忘れてしまったのですが）を聞いてお婆ちゃんになった女性が昔を思い出している姿が浮かびこの様な作品が出来ました。読んで下った方々の心が温かくなれば嬉しく思います（＾＾）最後になりますがここまで読んで下りありがとうございます。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n7169b/

春色のけしき

2011年1月1日08時39分発行